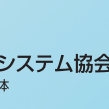
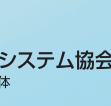
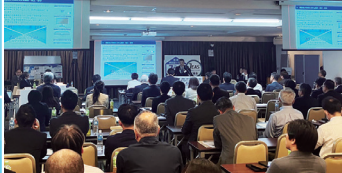


お陰様で25周年 ＊ 総会・第2回大プレゼン大会特集
… The Next Now JEAS 既に始まっている未来 …

	工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体				
	工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体				
	工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体				
	工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体		工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体		
	The Japan Industrial Association of E lectronic A ricle S urveillance machines		工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体	工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体	
●なるほど! 万引防止・ ロス対策情報は JEAS Facebook			総会と 感謝状贈呈の様子		
●月2回定期配信 ロス対策メールマガジン					

～ 防犯民主主義実現に向けて～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会

JEAS News 第45号 2026 夏号

お陰様で25周年＊総会・第2回大プレゼン大会特集

…The Next Now JEAS 既に始まっている未来…

目 次

EAS、カメラ分野を担当する工業会として	表紙裏
2026年度 JEAS 通常総会・記念イベントの様子	3
令和8年度事業計画	4
あいさつ 工業会日本万引防止システム協会 会長 稲本 義範	5
工業会日本万引防止システム協会令和7年度通常総会開催概要	6
あいさつ 総務省総合通信基盤局 電波部電波環境課 課長補佐 川上 慎史 様	6
あいさつ IPA セキュリティセンターフェロー 神田 雅透 様	6
あいさつ 国土交通省 鉄道局 総務課 危機管理室 室長 橋本 真和 様	7
あいさつ 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 課長補佐 籠 寛之 様	8
万防機構ホームページの気になるアイコン	
関連：治安・テロ・サイバー犯罪対策調査会・特殊詐欺対策 PT が高市首相に提言	9
2026年度感謝状贈呈 4 法人への文面	9
新役員あいさつ	9
副会長退任あいさつ	11
令和8年度職業専門員認定者一覧	11
通常総会・第2部 記念行事 第2回大プレゼン大会 JEAS AWARD 2026	12
2025年万引防止システム市場規模調査報告書の概要報告	13
セキュリティショー2026 JEA 特別セミナー報告	13
小売業の内部不正対策セミナーを開催	14
各地の防犯団体への協力と交流	15
新会員あいさつ	15
推薦製品の紹介	17
理事会15分勉強会	17
第22回アジア太平洋余剰小売業者大会のスポンサーとして	17
工業会 日本万引防止システム協会のご案内	18
事務局長編集後記	18
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図	裏表紙
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿一覧 ご相談窓口について	裏表紙

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明 [分野：電子商品監視機器（EAS）、防犯カメラ] に関するお知らせ

- (1) 2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。
- (2) また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置（地方税）」においても、対象設備細目が2017年4月1日から拡充されました。
- (3) 当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」※を推進するために、2018年1月25日の理事会承認を経て2018年2月1日より本証明書の発行受付をスタートしました。
※「攻めの防犯」と「防犯民主主義」の説明 <http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf>
- (4) なお、中小企業経営強化税制につきましては、2027年3月末日まで延長されています。
詳しくは工業会ページをご参照ください。 <http://www.jeas.gr.jp/intro08.html>

JEAS Facebook も絶賛公開中！
<https://www.facebook.com/JEAS.JAP>



2026年度 JEAS 通常総会・記念イベントの様子

2026年6月5日（金）令和8年度 工業会 日本万引防止システム工業会 JEAS【設立25周年記念】通常総会&第2回大プレゼン大会・意見交換会が開催され、オンラインを含め180名にご参加いただきました。

【資料及び視聴用動画】

○総会議案書 (PDF) ○総会各発表資料 (ZIP) ○ワラカド POP (PDF) ○劇場用感情分析 POP (PDF)
○4社への感謝状 (PDF) ○8月7日4回ファミリーセミナー案内 (PDF) ○当日の動画を視聴されたい方は事務局にお伝えください。

通常総会の会長挨拶、感謝状贈呈、万引防止システムの市場調査報告、創価大安田ゼミの方々と



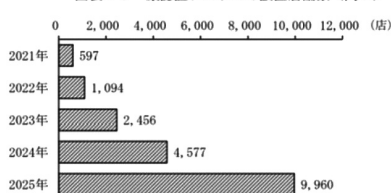
会場参加の新役員と新会員挨拶



2026年度任命の職業専門委員の任命、総務省総合電波環境課水井様ご祝辞、市場統計より抜粋



図表 1-5 顔認証システムの設置店舗数（問7）



○第1部会長挨拶文 (PDF)、○山本副会長挨拶文 (PDF)、○木村最高顧問挨拶文 (PDF)

【第2部】第2回大プレゼン大会受賞企業



高千穂交易（株）日向様

ダイワ通信（株）山田様

（株）杏林社 八木様

【第3部】衆議院議員の葉梨様（元法務大臣）からご祝辞と小売業の皆様へ質問する学生さん



経済産業省 商務・情報政策局 情報産業課 課長補佐 籠様や日本小売業協会 専務理事 湊元様よりご祝辞をいただきました。

☆10月のアジア太平洋小売業者大会とアジア初のロスプリベンション会議の参加チケット（8万円）の抽選会は（株）JSSの林様が当選されました。最後まで情報交換で盛り上がりしました（^^）

○第3部会長挨拶文：The Next Now JEAS 防犯全体で抜本的な見直しを！ (PDF)

※ PDF データは、下線部をクリックすると元ファイルや対象のサイトを確認することができます。

令和 8 年度事業計画

万引撲滅・ロス対策を通して、犯罪に強い持続的社会的実現に向けて J E A S の役割を果たそう！
防犯民主主義実現の旗の下、EAS 機器と防犯カメラとロスプリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の孤立防止、さらにはプライバシーへの配慮という産業的、社会的役割を果たすべく活動して参ります。

本年度も当工業会では、以下の観点で事業及び各対策を強化していく所存です。

テーマ：防犯民主主義実現の旗の下 協働防犯への研鑽

- 1) 工業会 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化並びに会員増強
 - ・セキュリティショー2027にブース出展、セミナー開催 2027年3月2日～5日
 - ・8月1日第4回ファミリーセミナー「アポロ13号計算尺を使って地球に帰還できるか」＜新＞
 - ・2026年10月開催の第22回アジア太平洋小売業者大会（東京大会）出展とセミナー＜新＞
 - ・先端設備等に係る生産性向上要件の証明証発行の工業会活動
- 2) 万引防止システムの理解を深めていただくための広報活動・
 - ・通常総会・創立25周年記念第2回大プレゼン大会「JEAS AWARD2026」開催 6月5日＜新＞
 - ・会報45号と46号の作成、2026年度ロス対策年間チャート活用セミナーを予定＜新＞
- 3) 万引防止システムの知識向上のための研修
 - ・15分勉強会/JEAS メール/JEAS フェイスブック/X/新聞連載等での情報提供
 - ・7月24日第9回 JEAS 検定講習会（万引防止システムの基礎講座）開催予定。
 - ・10月16日第6回科学保安検定講習会開催予定
 - ・5月8日公認不正検査士プロフェッショナル対談ハイブリッドセミナー開催＜新＞
 - ・心臓ペースメーカーなどの医療機器装着者と共存を図るための活動
 - ・EAS ステッカーや EAS 導入店表示 POP の普及促進、北大での干渉テストの継続実施＜新＞
- 4) 無人店舗などの DX 推進と LP 両立のための調査
 - ・6月16日 ID 認証技術推進協会とのコラボセミナー（例 6月16日 ID 認証技術推進協会）
 - ・AI 関係や DX 推進の団体やコンソーシアムとの連携
- 5) 機器の信頼性アップのための対策推進
 - ・第7回推奨顔認証システム検定の審査9月実施
 - ・昨年度作成した「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備」の冊子見直し
 - ・電波法、電安法などの関連の情報収集と知識習得、IEC 規格 IEC62369-1:2008改正準備対応
- 7) 解除器の盗品流通防止活動
 - ・ネット等の個人への販売中止依頼と各社サイトでの簡易解除器の削除の継続
- 8) 万引防止システム関係に係る関係法令対策活動
 - ・個人情報保護法改正に伴う JEAS 個人情報保護指針の見直し、各冊子の改定＜新＞
 - ・個人情報保護法改正に伴う内容説明のウェビナーを検討中＜新＞
- 9) 業界発展を目的とした調査、提案等の活動
 - ・JEAS 推奨製品認定のための検定制度の継続
 - ・海外から来られた新たな仲間の紹介の強化
 - ・ロス・プリベンション教育の推進（ロス対策士合格者報奨制度、新テキスト無償配布など）
 - ・2026年度の職業専門委員の発表と2027年度案の作成
- 10) 所轄官庁はじめ関連諸団体との連携強化
 - ・電波及び機器に関することについては、総務省・経済産業省・厚生労働省等と連携
 - ・万引防止活動に関しては、警察庁・都道府県警察・全国の万引防止団体等と連携
 - ・防犯業界初！適正取引に向けた自主行動計画作成と履行＜新＞
 - ・IoT セキュリティ製品の更なる安全性を確保するために「JC-STAR 制度の賛同団体」＜新＞



こんにちは 稲本です。みなさまのお蔭を持ちまして当工業会は設立25年目を迎えております。さて、犯罪情勢として、令和4年と令和7年の検挙及び補導人員の比較では、高齢者は1.1倍、高齢者を除く成人は1.2倍、19歳以下の青少年では1.6倍の増加となっております。内部不正やセルフレジ不正やカスハラも含む店舗での犯罪行為や迷惑行為に対し、危機感を持ち、さらなる効果的な対策をもって、現場と本部、さらには地域をサポートいたす所存でございます。

今回の総会では、設立25年目の感謝を込めて、The Next Now JEAS 既に始まっている未来を学ぶため、三つのことを準備しました。

(JEASの方向感とJEASの市場規模調査の発出)

1点目として、「防犯民主主義実現の旗の下 協働防犯への研鑽」をテーマに「和らぎの心」で行っている4つの検定制度を軸に、サイバー対策、データガバナンスなどの新たな取り組みを展開しており、本日は、それを紹介しします。私が安全対策にこだわるのは、それが利用促進の土台となるからです。そのおかげもあって、EAS（商品監視システム）の出荷は復調基調です。中でも図書館は、以前、年間200台下回る時期もありましたが、昨年は740台と過去最高の出荷数になっております。顔認証システムの導入店舗数は5年前の597店から、昨年は9,960店へと飛躍的に普及しました。本日、会場を見渡すと、利用指針などを整備して、ユーザー様と学び合っている企業が成長していると、感じます。皆様はどう感じておられますか。

(アジア太平洋小売業者大会と会員のグローバル化)

2点目として、10月に開催されるアジア太平洋小売業者大会イン東京へ参加の件です。振り返ると2015年と2017年に行った米國小売企業との会議、2019年には中国小売業企業との会議、2021年の国連犯罪防止刑事司法会議（京都コンGRESS）へ参加しました。

そして、今年10月のアジア太平洋小売業者大会には18か国のアジア太平洋地域の小売業企業が東京に集まります。JEASはブース出展及びアジアで初となるロスプリベンションの国際会議を主催します。現在、近江副会長のほうで、アジアの主要小売業のロス調査を行っていただいております、その結果などを発表する予定です。JEAS会員企業は、アジア各地に拠点や販売網をもっており、それをご支援し、結果的にロスプリベンションの輪を、地域を超え、次の世代へとつなげて参る所存です。皆様を会場となる有楽町国際フォーラムでお待ち申し上げます。

(笑う門に福来ます会のソフト＆ハード活動)

3点目として、総務委員会の中にある笑う門に福来ます会、通称ワラカドの話です。私は万引犯罪で刑務所や拘置所に入った方々、家庭裁判所での万引した少年たちとその保護者の講演をさせていただいております。実はその中で、笑顔訓練のメニューがあり、参加者アンケートを拝読すると挨拶訓練が楽しく学べた。人はなぜ、挨拶をするのかが分かった。今後は自分から挨拶したい。という意見がありました。それをソフト的に、または、ハード的に実践するために、作られたのがワラカドです。

ソフト的にはJEASの公式メルマガの元旦号のワラカドPOPの作り方をお示ししました。万引き対策や商売繁盛につながるソフト対策です。東京万引き防止官民合同会議の研修においても、この訓練方法が実践されています。

ハード対策では、このあとの大プレゼン大会で、個人情報に配慮しながら劇場用感情分析システムを使った笑顔の統計測定を行います。公正な審査の補助ツールとして活用します。

さて、さて、本日はThe Next Now JEAS 既に始まっている未来を、和らぎの心で楽しく研鑽していただければ幸いです。以上です。



事務所
〒160-0004
東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER7階

総会 第1部 来賓挨拶

総務省総合通信基盤局 電波部電波環境課
課長補佐 川上 慎史 様



総務省電波環境課の川上と申します。本日は、このような場で御挨拶させていただけることを光栄に思っており、また、総会が盛大に行われましたこと、心よりお喜び申し上げます。私ども総務省では電波を所管しており、その中で電波環境課と言いますと、何をやっているのかというところが分かりづらいところもあるかと思いますが、簡単に言いますと、電波を国民の皆様安心して使っていただける環境を整備する、というものでございます。

具体的な取り組みとしましては、電波を利用するシステムが人体に影響を与えることがないように、国際的なガイドラインを参照しながら「電波防護指針」というものを策定しておりまして、このような取り組みにより、より安全に安心して電波を利用できるように努めております。また、携帯電話などの電波利用システムが心臓ペースメーカーなどの医療機器に影響を与えることがないように、どれくらいの距離を離せば影響が出るのか、出ないのかといった観点からも調査を行っておりまして、その成果を総務省ホームページや講演会などで紹介しているところでございます。皆様におかれましても、お時間などございましたら、「総務省 電波の安全性」などで検索をしていただいて、ホームページをご覧ください、関心を持っていただきますと大変ありがたいと思います。

工業会 日本万引防止システム協会様におかれましては、万引防止システムとして利用されているEAS機器の適切な利用を推進するべく、EASステッカーなどの取り組みをされておりますが、その際にも、ペースメーカーなどの医療機器に影響を及ぼさないようご配慮をいただいていることに加え、EASからのペースメーカーへの影響についての試験も進められていると認識しております。このように、人体への安全性をしっかりと確保していただきながら、万引防止の取り組みを推進していらっしゃることに敬意を表します。

今後も貴協会と連携させていただきながら、国民の皆さまがより安全に、安心して暮らせる社会づくりに貢献していければ幸甚でございます。工業会 日本万引防止システム協会様のますますのご発展を祈念しまして、私からの挨拶とさせていただきます。ご清聴いただき、ありがとうございました。

総会 第2部 来賓挨拶

IPA セキュリティセンターフェロー 神田 雅透 様
JC-STAR 制度の説明



IPAの神田でございます。JC-STAR制度についてご紹介をさせていただきます。工業会日本万引防止システム協会がJC-STARの賛同団体に加盟していただいたということもありまして、今日、本日紹介の時間をいただきました。

このJC-STARという制度ですが、去年3月にIoT機器のセキュリティの見える化のためのラベリング制度として始めたものでございます。IoT機器はセキュリティ対策をしているかどうか外形的にわからないので、ベンダーとしてもセキュリティ対策をアピールする手段がないため、この制度を発足させたというところでございます。IoTになって便利になりましたが、リスクが放置される、あるいは気づかない例があります。今日は二つ説明しますと、一つは、IoT機器はどうしても安く作ることもあって、他社製品のライブラリーだとかOSを組み込んだりします。その時に予期しない機能が実はデフォルトでオンになったまま出荷をしてしまうことがあります。本来機能としていないものがオンのまま出てしまい、そこを狙われるということがあります。もう一つはディスプレイとかがないケースが多いので、何か異常があっても通知する手段がないということです。IoT機器が表では正常動いている場合、裏で勝手に悪さをしていることを通知しにくいということになります。こういったことがないようにベンダーさん頑張ってくださいということで、ラベリング制度が始まりました。

そして、2025年5月21日に『★1 適合ラベル』第1陣が発行されました。(11社26申請) QRコードがあるので、これを読むとどういう製品がどういうセキュリティ対策をしているのかホームページでわかります。2026年3月31日で適合ラベル発行数は80社199申請(製品型番数1500越)となりました。今は★1という一番

下のレベルが始まっており、通信機器とネットワーク機器で、この6月に★3という少し高いレベルのものが出てきます。ただ、★1でも最低限の脅威には対抗できます。

諸外国制度との相互承認の促進については、英国（PSTI）とシンガポール（CLS）とは完了していますし、アメリカやEUに関しても交渉しております。

このラベルを広く知ってもらうということもあって、JEITAや家電流通団体といっしょに注意喚起のプロモーションを進めています。消費者に必要性・有用性を伝えるためのプロモーションを行って周知・自己啓発活動を今後も行ってまいります



IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

賛同団体一覧

賛同団体とは、各業界団体やIoT製品を製造しているベンダーも参画し、JC-STAR制度の連携や会員企業への積極的なラベル取得の働きかけを行うことに賛同していただいている団体のことです。2026年3月27日時点での賛同団体は以下の通りです（五十音順）。

工業会 日本万利防止システム協会（工業会JFAS）

会員数：67社（2026年2月現在）

- ・正会員 46社
- ・賛助会員 12社
- ・特別会員 9社

主なIoT製品類型：

- ネットワーク型の電子商品監視機器（FAS機器、RFID機器）
- ネットワーク型の防犯カメラやAIカメラや録画装置
- ネットワーク型の顔識別機能付きカメラシステム
- ネットワーク型の店舗用ロケット
- 高性能日本製ルーターやモバイルルーター

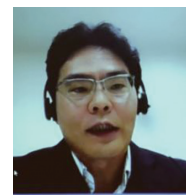
各カメラベンダーの取得履歴

企業名	取得日
i-Pro株式会社	2025/5/1
セコム株式会社	2025/5/12
アクシスコミュニケーションズ株式会社	2025/5/12
キャノン株式会社	2025/10/6
ハンファビジョン	2025/12/3

(Source: IPA情報処理推進機構ウェブサイト)

総会 第2部 来賓挨拶

国土交通省 鉄道局 総務課 危機管理室
室長 橋本 真和 様



貴重なご機会をいただき感謝申し上げます。国土交通省の橋本と申します。本日はこのようなご挨拶の機会いただきまして、ありがとうございます。

私ども、国土交通省の鉄道局の危機管理室におきましては、テロ事件等への対策の一環といたしまして、鉄道への防犯カメラの設置が促進されるよう、事業者の皆様と日々取り組みを進めているところでございます。

鉄道における防犯や事件対策を強化するきっかけというのは様々ございます。例えば、2015年には新幹線車内で放火による火災が発生するという事件がございまして、他の乗客の方もお亡くなりになりました。これを受けて、新幹線への防犯カメラの設置が急速に進んだところでございます。

2021年、東京オリンピック・パラリンピックの年、小田急線、京王線で相次いで無差別傷害事件が起こるということもございました。特に京王線の事件におきましては、ハロウィーンにジョーカーに扮した者が放火に及ぶという事案でございまして、大きく報じられました。こうした事件もありまして。その後、急速に鉄道における事件対策が進み、その一つとして一定の輸送密度の車両、路線に対して防犯カメラの設置を義務付けたところでございます。こうした防犯カメラの義務化に対しまして、おそらくその社会的な安全安心に対する要請の高まりというところもあるかと思っておりますけれども、各事業者様の自主的な取り組みのもとにおきまして、防犯カメラの設置というのが、法令の義務を上回るペースで進められているところでございます。私どもといたしましても、頭が下がるところでございます。

設置数は増えておりますけれども、一方で、特にAI等の実装すべき機能とか、あるいはプライバシーの課題、プライバシーの配慮といった点など、まだまだその設置台数に迫っていない課題がたくさんあるところでございます。これらいずれも重要であり、かつ、難しい問題でもあります。

まさにこうした様々な問題に対しまして、幅広く、かつ意欲的に取り組んでおられます皆様の活動について、改めて敬意を表するところでございます。私どもといたしましても、そうしたご知見を伺いつつ、安全かつ適切な防犯カメラの設置拡大に取り組んでまいりたいと考えているところでございます。

改めまして、皆様の活動がますますご盛況でありますこと、その総会がこうして盛大に開かれておりますことにご喜び申し上げます。本日はありがとうございました。

総会 第3部 来賓挨拶

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課
課長補佐（軽電、計測機器、制御機器 等 担当） 籠 寛之 様



みなさま、経済産業省商務情報政策局情報産業課 籠 といひます。稲本会長をはじめ、業界のみなさま、出席されているみなさまには、日頃より格別のご尽力をいただいております。心より御礼申し上げます。

我が国は近年、物価高、人口減少や少子化など社会的な課題が山積みですが、一方で、史上最高水準の株価を記録するなどの明るい兆しも見えております。現時点で、皆様の一番ご関心が高いのは中東情勢だと思います。アメリカとイランの交渉状況は依然として予断を許しませんが、我が国は関係各国とのエネルギー外交を積極的に進めています。原油については、年度を超えた安定供給が確保できる見通しです。さらにホルムズ海峡を通過しない原油の代替調達も重要な課題であり、中南米、中央アジアなど様々な地域と交渉しており、多角化が進展する予定です。ナフサについても、年を越えての供給継続は可能となっておりますが、流通過程において、一部物資の目詰まりなどが起きていることも事実です。国はこれを解消すべく、個別企業にアプローチし正確な情報をお伝えして状況をご理解いただくことなどで、解決につなげるようにしております。

電気ガス料金についても、今後、燃料輸入価格の上昇が電気料金に反映されていく見込みであることから、7月から9月にかけて支援を実施する予定です。このような中東情勢などの地政学的な変化で、企業のサプライチェーンに影響が出ているところですが、高市政権は「成長投資により強い日本をつくる」この方針は変わっておりません。国が設置する日本成長戦略会議において、17の戦略分野ごとに投資を加速する成長戦略に向けた検討を進めており、この夏に日本成長戦略をとりまとめる予定です。「A I ・半導体」などに大胆な投資を拡大し、我が国成長力を底上げしていく予定です。

半導体は、スマートフォンや医療機器、もちろん家電にも、幅広い製品に使用されており、さらに経済安全保障上も重要な戦略物資となっています。今後も、自動運転や生成A I、また省エネ設計という観点も含め、我が国産業の未来、将来の経済成長の命運を担います。

また、A I もいまや、言うまでも無く重要です。人口減少による構造的な人手不足やG X等の社会課題を解決するために不可欠であり、経済成長を実現します。

さらに、これらのA I ・半導体などのデジタル技術の推進に加え、サーキュラーエコノミーなどのGXの推進も重要です。製造過程でのC O2排出削減や廃棄物削減を通じて、投資支援や産学連携などの取組を加速していきたいと考えています。

貴工業会は、本年創立25年目の節目を迎えたと聞いております。誠におめでとうございます。監視カメラ、ゲート機器などの防犯対策機器は、我が国の安全を正常に保つことができるものと考えます。最新の情報でも刑法犯に占める万引の割合は増加していることを聞きました。非常に残念なことであり、今後もその対策がさらに重要になると考えています。このような犯罪を防止するには、家族間交流などの社会活動のほかに、A Iなどのデジタル利用も今後ますます重要になると考えます。このような国の施策ともうまく交流していき、我が国の社会・生活の安全・安心を保つことができる良い方向に向かうことを期待しております。

それでは、貴協会のみなさま、並びに会場にいらっしゃいます皆様の益々のご活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

第3部はそれ以外に元法務大臣で衆議院議員の葉梨康弘様（自民党の防犯&サイバーの委員会責任者）のご挨拶、乾杯は日本小売業協会 専務理事 湊元 良明様にお願いしました。会場には日本リテイリングセンター代表 渥美六雄様やお世話になっている小売業の皆様など総勢100名以上のご参加をいただきました。アジア太平洋小売業大会の会議の招待券（8万円）の抽選大会や第2回大プレゼン大会の優勝者の挨拶など楽しい行事が続き、大団円のむすびを迎えることができました

万防機構ホームページの気になるアイコン <https://www.manboukikou.jp/>

ロス対策士検定試験制度について

万引対策百般
TOKYO
立ち余話



関連：2026年5月27日治安・テロ・サイバー犯罪対策調査会・特殊詐欺対策PTが高市首相に提言



<https://www.jimin.jp/news/policy/213310.html>

2026年度感謝状贈呈4法人への文面

総会の第一部では日頃の感謝を込め（株）トライアルホールディングス、政策委員会（株）ベイシア、LINE ヤフー（株）、（株）メルカリに感謝状が贈呈されました。

株式会社トライアルホールディングス 殿

貴社は、研究施設や最新店舗の見学、ロス改善事例に関する講演、新技術のAI万引防止システム実験を引き受けていただくとともに、同業店や警察との協働防犯の推進をなど通じ、ロスプリベンションの先駆的役割を果たされてこられました。

これにより、万引犯罪に留まらず、国民生活の安全・安心への多大なる貢献をしていただきました。

ここにその功労を讃え、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

株式会社ベイシア 殿

貴社は、ロス改善事例に関する講演依頼、新技術のAI万引防止システム実験やそれを活用した科学保安の活用を引き受けていただくとともに、同業店や警察との協働防犯の推進、さらにはロス対策士の受講の推進などを通してロスプリベンションの先駆的役割を果たされてこられました。

これにより、万引犯罪に留まらず、国民生活の安全・安心への多大なる貢献をしていただきました。

ここにその功労を讃え、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

LINE ヤフー株式会社 殿

貴殿は、会議や講演などでの不正品への対策情報の提供、さらには盗品転売防止に向け、不審な出品者への具体的なアプローチを実施されました。

さらには万引防止システムの防犯タグ解除機器の不審なCtoC取引の中止を行っていただきました。

これにより、万引犯罪に留まらず、国民生活の安全・安心への多大なる貢献をしていただきました。

ここにその功労を讃え、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

株式会社メルカリ 殿

貴殿は、会議や講演などでの不正品への対策情報の提供、さらには盗品転売防止に向け、不審な出品者への具体的なアプローチを実施されました。

さらには万引防止システムの防犯タグ解除機器の不審な販売対策の会議への参加、不審なCtoC取引の中止を行っていただきました。

これにより、万引犯罪に留まらず、国民生活の安全・安心への多大なる貢献をしていただきました。

ここにその功労を讃え、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

新役員あいさつ



副会長及びカメラ画像安全利用推進委員会

グローリー（株）国内カンパニー 営業本部 リテール営業統括部 警送営業部

山本 健二氏

このたび、副会長を拝命いたしました山本です。実務としては、カメラ画像安全利用推進委員会の委員長と推奨顔認証システムワーキング長として活動してまいります。

私自身は協会には10年ほど在籍をさせていただいており、主に顔認証システムの普及推進に努めてきたとこ

ろです。具体的には「推奨顔認証システム検定制度」の発足に関わり、現在は検定の実施を行っています。検定はただ単に項目内容を審査するのではなく、小売業様向けにしっかりと運用できるようにアドバイスを行い、メーカーのほうで必要と感じられて改善をしていただいてから認定される事例が多いのが特徴です。現在7社が推奨されています。毎年審査を実施しておりますので、これから参入を検討されているメーカーのご参加をご検討いただければと思います。

また、顔は個人情報にあたるため、顔認証システムを導入されるユーザー様に対して必要な店頭告知やホームページでの掲載について、認定団体として個人情報保護委員会に相談させていただきながら協会としてのガイドラインの策定を行いました。今後も個人情報保護法の改正に合わせて改定を重ねてまいりたいと考えます。

皆様のご意見を丁寧に向いながら、工業会 JEAS（日本万引防止システム協会）のさらなる発展と、業界全体の価値向上に微力ながら貢献してまいりたいと考えております。何卒ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



理事・カメラ画像安全利用推進委員会

株式会社三宅 取締役社長 三宅 賢二郎氏

このたび、カメラ画像安全利用推進委員会の理事を拝命いたしました株式会社三宅の三宅賢二郎です。このような重責を担う機会をいただき、大変光栄に存じます。

株式会社三宅は、工業会 JEAS 発足当初より会員として活動に参画し、万引防止システムや防犯カメラの普及、ロス対策の推進を通じて、小売業界の安全・安心な店舗づくりのお役にたてるよう取り組んでまいりました。

近年、小売業を取り巻く環境は大きく変化し、人手不足や犯罪の巧妙化、多様化するリスクへの対応が求められていると感じております。その中で、カメラ画像の適正かつ安全な利活用は、防犯対策だけでなく、店舗運営の効率化や利用者の安心につながる重要な役割を担っています。

今後も万引防止システムや防犯カメラの適正な運用の普及と業界の健全な発展、さらには社会の安全・安心の実現に微力ながら尽力してまいります。会員の皆様をはじめ関係各位のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



理事・総務委員会

AWL 株式会社 上席執行役員兼 CHRO 土田 美那氏

このたびご縁をいただき、理事に就任しました土田美那です。

私は北海道大学発スタートアップである AWL 株式会社において、防犯カメラを活用したエッジ AI 映像解析ソリューションを、リテールをはじめとする現場で社会実装してまいりました。代表ソリューションである「AWLBOX」や、回転ずし大手のスシロー全店に導入された顔認証勤怠管理システム「FaceWatch」などの取り組みを通じてその領域を広げ、近年は製造分野への展開にも力を注いでおります。私自身はエッジ AI の新規事業開発と海外展開を担当しております。

また、2024年より JEAS の委員に参画し、AI の適正な利活用およびガバナンスの在り方についての検討に携わってまいりました。さらに2026年6月より理事に就任し、業界の発展に寄与する立場を賜りましたこと、身の引き締まる思いでおります。

これまでセミナーや熱海嵐山での合宿に参加させていただき中で、皆様の豊富な知見と実務に根ざした議論に触れ、多くの示唆を頂戴してまいりました。

今後は、これまで培ってきた知見を活かし、技術の進展と社会的信頼の調和を図りながら、安全で持続可能な仕組みの構築に向けて、精一杯尽力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



最高顧問

丸の内総合法律事務所 弁護士 木村 一輝氏

今般、最高顧問として参画させていただくことになりました、弁護士の木村一輝（きむらかずき）です。私は、かつて個人情報保護委員会で執務を行い、その際に、防犯カメラ、顔識別機能付きカメラシステムや、認定個人情報保護団体を担当しておりました。その際に JEAS のことを初めて知りましたので、もうすでに3年以上、JEAS とともに歩んでいることになります。

その間、セミナーや熱海嵐山の合宿に参加させていただいたり、「画像と文字の AI 利用について社会のご理解をいただくためのお勧め事項」の作成にかかわらせていただいたりと、皆様に温かく迎えていただきました。

熱海嵐山の合宿 今度は、私が恩返しをする番ですが、私は法律家ですので、まずは、JEAS が、また、皆様が、適法に活動できるように役割を果たしていきたいと考えております。現代では、法規制は複雑になっています。実際に、現在の国会で提出されている個人情報保護法の改正案は、新たなデータカテゴリーを設ける等、さらにわかりにくくなっています。また、適法に事業を行うためのガバナンス体制の構築－例えば、作業・検討の手順の構築、規程・組織の整備－の重要性が叫ばれ、サービスさえ良ければ、あとは何をやっても良い、という時代は終わっています。

法律家の役割は、「このようなリスクがありますね」、「これは違法ですね」、「これをやれば完璧ですね」と評論家のような意見を述べるのではなく、リスクをどこまで受容するか、どのようにすれば適法にできるのか、限りあるリソースの下でどこまでやるかを考えることです。法律やガバナンスのことで、悩むことがあれば、いつでもお声がけください。JEAS の理念にもつながるのですが、自分の知識・経験をできるだけ、皆様のお役に立てることこそが、うれしいことです。

最後に、引き続きの温かいご支援のお願いと、JEAS の発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

副会長退任挨拶

株式会社三宅 代表取締役会長 三宅正光

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当協会の活動に多大なるご尽力とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

私事ではございますが、このたびの定時総会をもちまして、日本万引き防止システム協会の副会長を退任することとなりました。在任中は、激変する小売業界の環境やテクノロジーの進化に合わせ、カメラ画像安全利用や顔認証をはじめとする最新技術を活用した店舗セキュリティの普及、そして安全・安心な社会の実現に向けて、皆様と共に邁進できましたことは、私にとって大きな誇りであり、かけがえのない財産でございます。

力不足の私を支え、共に歩んでくださった役員の皆様、そして会員企業の皆様の温かいご指導とご厚情に、深く感謝と御礼を申し上げます。後任の皆様には、これまでの足跡をさらに発展させ、時代に即した新たな防犯の未来を切り拓いていかれることを確信しております。

最後になりますが、工業会 日本万引防止システム協会（JEAS）の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝ならびに会員企業様の

御隆盛を心より祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。

令和8年度職業専門員認定者一覧

一昨年度、昨年度に続き、業界に長らく貢献し後進の模範となられている方々を「職業専門委員」に認定します。



2026年度工業会 JEAS「職業専門委員」選出理由

No.	組織	役職	氏名	選出理由
1	当工業会	理事 DX推進プロジェクトサブリーダー	井上 謙二	所属：日本 NCR コマース株式会社マーケティング本部マネージャー、日本小売業協会など他の団体とのパイプ約セルフレジ不正対策の推進と NRF などの海外情報の提供
2	当工業会	理事 政策・研究委員会委員	松崎 泰二	所属：ビブリオテカ・ジャパン株式会社営業部部長 少人化図書館の推進、EAS の安全利用の徹底、総会の司会進行業務での貢献
3	当工業会	理事 総務委員会委員	米山 英志	所属：株式会社エイジスコポレート本部 事業開発アライアンス担当部長 2019年チャイナショップでの中国防損協会との仲介、新規事業立ち上げ時のアドバイザー
4	当工業会	幹事	森川 真次	所属：アクシスコミュニケーションズ株式会社シニアアカウントマネージャー（リテール） 事業全般への監査と積極的な意見具申、ネットワークカメラの設置基準作り
5	当工業会	カメラ画像安全利用委員会委員 (理事 周 采穎の代行)	豊田 孝志	所属：株式会社 GeoVision 企画商品部 ネットワークカメラの設置基準作りと推奨顔認証に尽力
6	当工業会	政策研究委員会委員 (前政策研究委員会委員長)	佐久間博之	所属：高千穂交易株式会社マーケティング戦略推進部 チームマネージャー 2019年チャイナショップの企画、万引防止システム市場の調査報告の企画、AI 関係などの商材の推進、プレゼン力の指導
7	当工業会	理事 総務委員会委員	清永 浩史	所属：株式会社杏林社代表取締役 新たな発想で EAS 機器やショーケース防犯商材の普及促進。JEAS 会長の良き相談役（ストッパー）
8	当工業会	DX 推進プロジェクトリーダー	田中 崇	所属：株式会社三宅 専務取締役 セルフレジ対策セミナー内容の企画、DX 商材の情報収集、ロス対策の専門性の高さ
9	当工業会	理事 総務委員会委員	上野 順子	所属：NECソリューションイノベータ株式会社 DX テクノロジー事業部門生体認証・映像統括部 主任 顔認証現場適用に尽力。データガバナンスなどもユーザー様より高い評価
10	当工業会	科学保安プロジェクト（技術長）	林 俊一	所属：株式会社執行役員 第一保安警備事業部 部長 科学保安検定試験の最重要部分の講師を担当、推奨顔認証システム検定の審査を運用面からサポート
11	システムワークス ジャパン株式会社 認証・認可技術推進部	元カメラ画像安全利用推進委員会委員	関口 昭義	推奨顔認証システム検定の生みの親、パナソニックソリューション（現パナソニックコネクト）入会時の担当。サーマルカメラやハードディスクの廃棄方法作りに貢献。陰ながら JEAS 見守る真の支援者。

敬称略

通常総会・第2部 記念行事 第2回大プレゼン大会 JEAS AWARD 2026

副会長・総務委員長 近江 元

6月5日に行われた JEAS の通常総会の第二部は大プレゼン大会でした。昨年、初めて開催された大プレゼン大会が大変好評だったこともあり、今年の第二回はさらにバージョンアップして出場者も7名から11名と増えました。各社自信のある製品やサービスを熱っぽく語り、参加者も熱心に聞かれていました。

会場からの拍手も参考にして審査員が採点した結果、高千穂交易（株）の日向さんが金賞、銀賞がダイワ通信（株）の山田さん、ユーモア賞は、（株）杏林社の八木さんが獲得されました。

日向さんは、新たな試みとしてプレゼン中に会場参加者だけでなく、ウェブで参加されている方々を対象にライブアンケートを行い、その結果を共有することで参加者の関心を高めることに成功しました。プレゼンテーションの巧拙はもちろん重要ですが、プレゼンテーションの内容に関心をもって聴いていただける方法としてとてもユニークな試みでした。このことも優勝した要因のひとつかもしれません。

ユーモア賞の八木さんは、「最初からユーモア賞を狙っていた」と話していましたが、関西弁を駆使した見事なプレゼンテーションに会場の爆笑を誘っていました。

今回は、表情（感情）分析という新たなソリューションを体験しました。このソリューションは、参加者の表情からその感情を数値化しようとする試みです。劇場での観劇者の表情分析で実際に使用されているものですが、それを今回の大プレゼン大会で実際に採用したものです。具体的には各登壇者がプレゼン中の参加者の顔を撮影したカメラ画像から表情をリアルタイムで分析し、笑顔を数値化するというものです。この技術も今後さまざまなシーンで使われるようになるかもしれませんね。次回（来年）については、まだ決定はしていませんが、今回も大変好評だったため、来年も行われる可能性が高いでしょう。ぜひ会員企業の皆様にチャレンジしていただければと思います。

最後に、僭越ながら JEAS 及び参加者一同から感謝のメッセージです。
＝オンライン参加の皆様を含め、急なアンケートなどにご協力いただき、まことに有難うございました。今後
もわたしたちは「協働防犯への研鑽」を続けて参る所存です。不断的努力が必ずや花となり実となることを信
じて。引き続きのご指導・ご鞭撻をお願いします＝

☆第2回大プレゼン大会のプレゼン中に行ったライブアンケートの結果です。日向さんより
プレゼン中のライブアンケート結果を共有させていただきます。Q2.Q3は小売業の方のみの回答ではなく、
お取引先様をイメージして回答いただいているので、市場動向の数値にはなっていません。ご回答いただいた
方は80名の方が回答してくださっていたようです。

Q1 皆さんの業種を教えてください

*防犯機器メーカー・販売（システムベンダー）：52%

*小売り：18%

*警備・セキュリティサービス：10%

*その他（警察・行政・研究機関）10%

Q2 直近の棚卸結果のロス率・ロス額、把握されていますか？

わからない：47%

ロス率・ロス額を把握している：30%

おおまかな数字はわかる：23%

Q3 棚卸の結果をうけてロス分析をしている部署／人はいますか？

していない：70%

している：30%



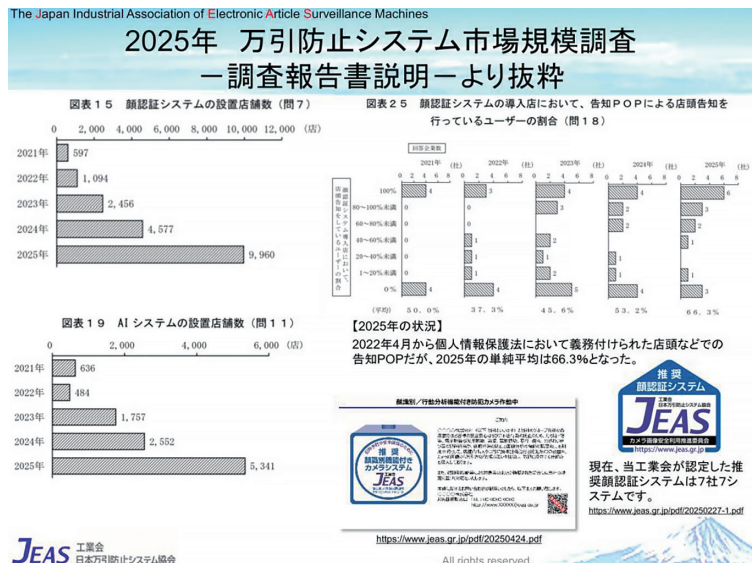
前日のライブアンケートのテストとプ
レゼンの連動訓練の様子（一人二役）

2025年万引防止システム市場規模調査報告書の概要報告



稲田政策・研究委員長の代理で、DX 推進
プロジェクトリーダーの田中崇氏に発表い
ただきました。

ようやく AI 関連の製品の市場が開花しま
した。



セキュリティショー2026 JEA 特別セミナー報告

工業会 JEAS より、「省人化店舗・セルフレジへの進化～セルフレジ利用に関する消費者意識調査報告書初公開～」とあの気になる店舗の最新 DX & AI 取り組み事例とその成果を発表し、セミナーは300名を超える申込みを頂戴しました。場所 東京ビッグサイト第7ホール 特別ステージ

日時 3月3日（火）15:10～16:10（60分）

演題及び登壇者

① セルフレジ利用に関する消費者意識調査報告書の解説

近江 元氏（司会）工業会 日本万引防止システム協会（JEAS）副会長・総務委員会委員長

② 無人本屋さんなどで使われているシステムの事例

古市 健氏 HOUSEI 株式会社 プロダクト事業室（当工業会DX推進プロジェクト委員会 委員）

③ 『Verkada』～ AI 技術を活用、店舗防犯の DX 化を実現～

鏡沼 則人氏 高千穂交易株式会社 リテールソリューション事業部・チームマネージャー

クラウド型統合セキュリティプラットフォーム「Verkada」をご紹介します。最新の AI 技術を活用したカメラ画像検索機能や各種認証技術など、セキュリティ機器運用の省力化・付加価値の創出を実現するソリューションについて、具体的な活用事例を交えて発表します。

④ モノ認識技術を用いた省人化、セルフレジ等の事例

鈴木規之氏 株式会社アスタリスク 代表取締役社長（当工業会DX推進プロジェクト委員会委員）

アパレル会社での RFID、人追跡の事例、うどん屋での人追跡や顔認証の事例、モール型店舗での従業員の顔認証入退館の事例など



JEAS ブースでは、推奨顔認証システムや推奨製品パンフレットの説明要望が多く、セルフレジ不正防止の冊子や顔認証ガイドラインや年間チャートも大人気でした。

小売業の内部不正対策セミナーを開催

セルフレジ不正の増加に呼応するかのよう、内部不正がまん延はじめていとお聞きしております。その防止するために、公認不正検査士の米澤先生と前田様（JEAS 顧問 / 会長補佐）と「小売業会計不正検査報告書と監査室長事件簿から対策を考える」セミナーをオンライン開催し、多数の皆様ご参加いただきました。

日時：2026年5月8日（金）の15:30-17:00

主催：DX 推進プロジェクト 田中崇リーダー（進行）

目的：店舗での不正の事例確認とその対策を学ぶ

対象：JEAS 会員、関係団体、小売業の監査室、ロス対策部門、IT 部門など

講師：米澤 勝先生 税理士、公認不正検査士

前田 伸氏 JEAS 顧問 会長補佐、公認不正検査士、公認内部監査人

稲本 義範 万防機構理事、JEAS 会長、公認不正検査士、ロス対策士、総合防犯設備士

※講師の3名は2008年から続く東京不正検査研究会第1期からのメンバーです。

スタッフ：監査室長事件簿連載編集委員 平尾潤氏（Teams 補助）、ワンビの松本氏ほか

小売業の不正対策セミナー

2026.5.8 セミナー内容のビジュアル要約

テーマ：事例から学び、仕組みで守る

1. 不正を理解する 不正のトライアングル - CFE：不正の防止・発見・抑止の専門家 - 不正は「動機・機会・正当化」が重なると起こりやすい - 不正をゼロにはしにくい、だから機会を減らす	2. 事例からの学び - 棚卸差異・内部通報・内部監査が、早期発見の起点になる - 防犯カメラは抑止だけでなく、従業員を守る証拠にもなる - 発覚後の調査費用は大きい。予防への投資が重要	
3. 不正対策の具体策 手荷物検査システム ① 最小構成型 ② 録画装置分離型 ③ 従業員出入口連動型 店舗規模に応じて、無理なく継続運用できる仕組みを選ぶ ※ランダム有人点検の併用が重要	セキュリティバー - 紙媒体の持ち出し対策 - ゲート / 金属探知ゲート + 専用用紙 - アナログ情報漏えい対策	PC紛失・盗難対策 - 一般的なMDM - 強力なロック&ワイプ - パスワードでの保護 - 初期化は手動対応 - オフラインでも自動ロック - オフラインでも自動消去 情報漏えいリスクを最小化
不正対策は、悪い人探しではなく、正しく働く従業員と組織を守る仕組み 今日のセミナーの核心 トップの関与 × 仕組み × 運用 × 風土 の組み合わせが重要		

各地の防犯団体への協力と交流（例）

☆2月20日（金）開催の茨城県防犯設備協会研修会への講師紹介

演題：話題のランサムウェア「Qilin」撃退実績！ランサムウェア対策プラットフォーム「Halcyon」で築くEDRの限界を超える防御戦略

講師：高千穂交易株式会社 蓮沼佑亮氏

☆2月24日（火）開催の関西防犯設備（士）協会連合会主催のセミナーへの講師紹介

演題：小売店向け万引き防止システム ショーケースガード SC-Guard、エスガード S-Guard

講師：株式会社杏林社 代表取締役 清永浩史氏

演題：工業会日本万引防止システム協会推薦製品のご紹介

講師：高千穂交易株式会社リテールソリューション事業部大阪支店 RS チームマネジャー 赤松忠彦氏

☆5月25日（月）茨城県防犯設備協会 第四回定時総会 記念講演会への講師紹介

演題：防犯機器と時代に即した機器のご紹介、オーム社から見た現代の防犯について

講師 株式会社オーム電気 田中氏（営業部）、林氏（商品部）

☆6月16日（火）一般社団法人 ID 認証技術推進協会 定時総会・記念講演会への講師派遣

演題：工業会 J E A S への取り組み状況と課題 講師：稲本会長

☆6月18日（木）静岡県警察本部 「万引き対策防犯責任者研修会」

への講師派遣

参加企業：高千穂交易（株）、タカヤ（株）、AWL（株）、（株）日本保安

※この様子は TV や新聞で全国に報道されました。



新会員あいさつ

●新規正会員



i-PRO 株式会社 セキュリティジャパン BU

i-PRO 株式会社は、2019年10月、パナソニックから画像センシング事業を行う会社として独立した、セキュリティ・セーフティおよび医療向けエッジコンピューティングカメラ分野における世界的なリーディングカンパニーです。当社は60年以上にわたり培ってきた高品質かつ信頼性の高いハードウェアを基盤に、高品質・高信頼のセキュリティカメラやレコーダー、AI アプリケーションを開発・提供するセキュリティカメラメーカーとして、社会の安心・安全に貢献しています。提供する商品・ソリューションは、防犯・監視用途にとどまらず、小売、商業施設、公共施設、物流・製造現場など、幅広い分野で活用されています。

特に小売分野では、複数店舗の映像を一括で確認できるクラウドカメラサービス「i-PRO Remo.」を活用することで、離れた場所からでも店舗状況を把握することができます。これにより、多店舗運営の効率化や万引き・不正の抑止に貢献するとともに、AIによる来場者分析を通じて店舗運営や売場改善にも活用いただけます。

エッジ記録型クラウド録画サービス「i-PRO Remo.」

ローカル録画とクラウド監視を組み合わせることで、スマートフォンでの監視の便利さと信頼性をリーズナブルな価格で両立させたサービスです。現場に行かずにカメラの映像をスマートフォンやPCで確認／一括管理できます。さらに、AIカメラ・AIアプリとの連携により、AIアプリ解析結果のダッシュボード表示に対応、来客数分析での店舗運営改善などに貢献します。

今後も、高い信頼性と優れたセキュリティ性能を兼ね備えた製品・サービスの提供を通じて、防犯対策の高度化と安全・安心な社会の実現に寄与してまいります。



キヤノンマーケティングジャパン株式会社 NVS 企画本部

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社は、キヤノングループの中核企業として、長年培ってきた映像技術とITソリューションを融合し、社会や企業が抱えるさまざまな課題の解決に取り組んでいます。

特に小売業のお客様に対しては、店舗運営における人手不足、防犯対策、顧客体験の向上など、多様な課題に応えるため、映像を活用したソリューションを提供しています。

万引き防止分野では、AIや映像解析を活用し、不正の抑止と現場業務の負荷軽減を両立しています。

また、リモート接客サービス「RURA」により、離れた場所からでも質の高い接客を実現し、省人化と顧客満足度の向上に貢献しています。

これらの取り組みを通じて、お客様とともに持続的な店舗価値の向上を目指してまいります。

キヤノン流通小売向け映像ソリューション

： <https://canon.jp/biz/product/camera/nvs/video-solution/retail>

TRUSTDELETE ワンビ株式会社

ワンビ株式会社は、「私たちが情報漏洩を防ぐ」を理念に、情報セキュリティ分野におけるソリューションの開発・提供を行っています。

主力製品である「TRUST DELETE」は、PCの紛失・盗難時に遠隔からデータを消去できる情報漏洩対策サービスです。万が一、端末が第三者の手に渡った場合でも、保存された機密情報を削除することで情報漏洩リスクの低減を支援します。

近年、働き方の多様化やモバイルPCの活用拡大に伴い、企業や団体が保有する情報資産をいかに安全に管理するかが重要な課題となっています。当社は、こうした課題に対応するため、遠隔データ消去技術を中心としたソリューションを提供し、企業・官公庁・教育機関など幅広いお客様の情報セキュリティ対策を支援しています。

また、サイバー攻撃対策に加え、端末の紛失・盗難といった物理的なリスクへの対策も重要性が高まっています。ワンビは、情報漏洩対策の最後の砦として、お客様が安心してPCを活用できる環境づくりに貢献しています。

■ 情報セキュリティへの取り組み

ワンビは、情報漏洩対策に特化したソリューションベンダーとして、お客様のセキュリティ課題の解決に取り組んでいます。サイバー攻撃対策だけでは防ぎきれない「紛失・盗難」というリスクに対し、遠隔データ消去というアプローチで情報資産の保護を支援しています。

・ワンビ株式会社： <https://www.onebe.co.jp/>

・TRUST DELETE Zero： <https://www.onebe.co.jp/product/tdzero.html>

●新規賛助会員

生活家電を支える総合メーカー



株式会社オーム電機は、照明・電材・生活家電・AV関連製品など、暮らしを支える幅広い製品を提供する総合メーカーです。創業以来、「より良い商品を、より多くの人へ」を理念に、安心・安全・高品質な製品づくりを続けています。

また、OEMを得意としており、関係基盤を築いた海外協力工場と連携し、スピーディな商品開発を実現しています。品質マネジメントの国際規格であるISO9001を取得しており、品質の維持・向上に努めています。さらに、災害対策にも力を入れており、社会の安心・安全に貢献しています。

(<https://www.ohm-electric.co.jp/bitiku/>)

全国のホームセンター、家電量販店、ドラッグストア、GMS、ディスカウントストアなど、多様な販売チャネルに商品を提供しており、OEMによるローコストのオリジナル商品の開発を得意とし、高い市場シェアを獲得しています。

●電設資材 住宅・オフィス・商業施設で使用される電気設備資材を幅広く展開。安全性と施工性を重視した製品ラインアップ。

●LED照明 省エネ性能に優れたLED照明を多数展開。家庭用から業務用まで幅広い用途に対応。加えて、学習スタンドにおいては国内トップシェアを誇ります。

●生活家電・AV機器 扇風機、ヒーター、オーディオ機器、電池など、日常生活を支える多彩な製品を提供。中でもポケットラジオは国内トップシェアを誇ります。

●防犯機器 防犯カメラ（屋内・屋外）、センサーライト、侵入検知センサー、ドア・窓用アラームなど、セキュリティ・防災用品 – <https://www.ohm-electric.co.jp/product/c07/>

最適な製品を多数取り揃え、導入しやすい価格帯と信頼性の高い品質で、小売業界から高い評価を得ています。

工業会 日本万引防止システム協会のご案内

工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

(1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

●万引防止システム製造ないし販売している企業および団体

●今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体

●万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など

●万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

●小売業に商品供給しているメーカーおよび物流企業

●小売業にサービスを提供している企業および団体

(3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（2019年6月6日改訂）

	年間売上金額	年会費 万円
正会員 ①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5億円以上、10億円未満	17
⑤	3億円以上、5億円未満	13
⑥	1億円以上、3億円未満	11
⑦	1億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

※正会員の年会費は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売、設置・保守サポート及びコンサルティングの年間売上金額に応じた年会費になります。※事業領域は万引対策だけではありません。（令和8年2月6日理事会にて文面更新）

■入会条件、入会申し込みはこちらのサイトをご確認ください。

<http://www.jeas.gr.jp/intro06.html>



編集後記・事務局だより

皆様、こんにちは。本誌をお手に取りいただく頃は、夏本番を迎えられていることと存じます。今号は令和8年度通常総会をはじめ、多くの活動の成果を詰め込んだ一冊となりました。

さて、恒例のスポーツの話題から。

FIFA ワールドカップ2026が北米で開催中です。本誌が皆様のお手元に届く頃には、日本代表の結果も出ているころでしょう。本稿を執筆しているこの瞬間、日本はまだブラジルとの激戦に臨むところでして、「世界一になったのでは？」という、夢か現実かわからない期待を胸に筆を走らせております。どうか神様、この後記が「的中した予言」として語り継がれますように――。

6月5日に開催された第25期通常総会・第2回大プレゼン大会は、盛会のうちに幕を閉じることができました。ご参加いただいた来賓・会員・小売業・行政関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

JEASはこれからも、静岡県警本部様をはじめ全国各地からのセミナーご依頼に積極的にお応えしてまいります。「具体的で、すぐに現場で役立つ」内容をお届けすることが私どもの使命です。各地からのご依頼を心よりお待ちしております。

理事・事務局長 田丸典億

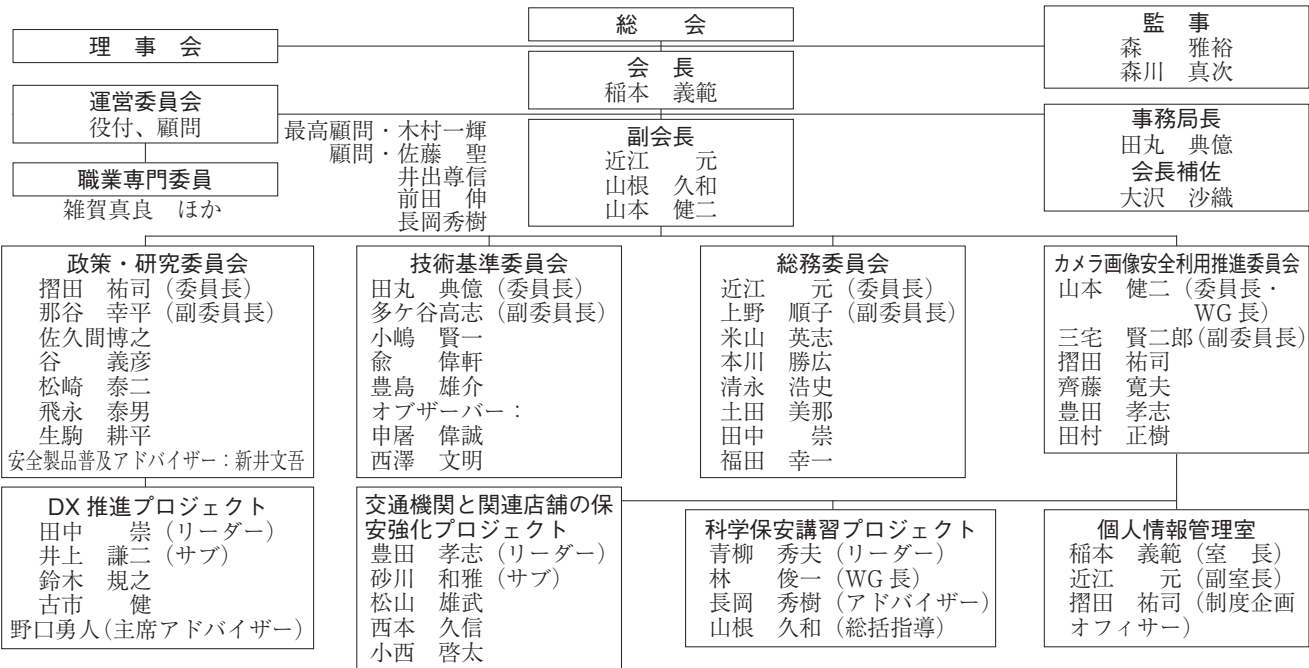
令和8年度 工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧
工業会 日本万引防止システム協会役職

No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易（株）	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 ロス対策土普及委員会 委員長	近江 元
3	副会長	セフト HD（株）	代表取締役社長	山根久和
4	副会長	グローリー（株）	国内カンパニー 営業本部 リテール営業統括部 警送営業部 営業1グループ エキスパート	山本健二（新任）
5	（政策・研究委員会） 理事	IDEC ファクトリーソリューションズ（株）	セールスマーケティング本部 EAS 営業部 部長	谷 義彦
6	（政策・研究委員会） 理事	キャトルプラン（株）	代表取締役社長	佐藤圭三
7	（政策・研究委員会） 理事	（株）セキュリティデザイン	営業副本部長	那谷幸平
8	（政策・研究委員会） 理事	（株）店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
9	（政策・研究委員会） 理事	日本電気（株）	スマートリテール統括部 コンシューマーエクスペリエンスグループ	摺田祐司
10	（政策・研究委員会） 理事	ビブリオテカ・ジャパン（株）	営業部部長	松崎泰二
11	（総務委員会） 理事	マイティキューブ（株）	代表取締役社長	本川勝広
12	（総務委員会） 理事	AWL 株式会社	上席執行役員兼 CHRO	土田美那（新任）
13	（総務委員会） 理事	（株）エイジス	コーポレート本部 事業開発アライアンス担当部長	米山英志
14	（総務委員会） 理事	NECソリューションイノベータ（株）	DXテクノロジー事業部門 生体認証・映像統括部 主任	上野順子
15	（総務委員会） 理事	（株）杏林社	代表取締役	清永浩史
16	（事務局長、技術基準委員会） 理事	タカヤ（株）	事業開発本部RF事業部 営業部SS担当マネージャー	田丸典億
17	（技術基準委員会） 理事	日本アクア開発（株）	取締役社長	豊島雄介
18	（カメラ画像安全利用推進委員会） 理事	株式会社三宅	取締役社長	三宅賢二郎（新任）
19	（カメラ画像安全利用推進委員会） 理事	（株）GeoVision	副社長	周采穎（Joy Chou）
20	（DX推進プロジェクト） 理事	日本NCR コマース（株）	マーケティング本部マネージャー	井上謙二
	監事	Loss-Controls 株式会社	事業開発本部インダストリー事業開発	森 雅裕
	監事	アクシスコミュニケーションズ（株）	シニアアカウントマネージャー（リテール）	森川真次

敬称略・順不同

最高顧問	木村一輝氏	丸の内総合法律事務所 弁護士（新任）
顧問	佐藤 聖氏	元（一財）元流通システム開発センター 調査部長
	井出尊信氏	高千穂交易（株）代表取締役社長
	前田 伸氏	会長補佐、CFE、CIA、元東芝プラントシステム（株） 監査室・参事／参与
	長岡秀樹氏	CIA（株） 代表取締役

令和8年度 工業会 日本万引防止システム協会 組織図



EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会 工業会 日本万引防止システム協会

正会員 (正会員数 47社)

IDECファクトリーソリューションズ(株)	(株)GeoVision
i-PRO(株)	セコム(株)
AWL(株)	セフトHD(株)
アクシスコミュニケーションズ(株)	ソフトバンク(株)
アースアイズ(株)	ダイワ通信(株)
アドセック(株)	高千穂交易(株)
(株)エイジス	タカヤ(株)
NECソリューションイノベータ(株)	チェックポイントジャパン(株)
エム・ケー・パピック(株)	(株)店舗プランニング
企業警備保障(株)	日本アクア開発(株)
(株)キッズウェイ	日本NCRコマース(株)
(株)Casley Deep Innovations	日本電気(株)
(株)キャトルプラン	ネクストウェア(株)
キャンノンマーケティングジャパン(株)	HIKVISION JAPAN(株)
(株)杏林社	パナソニック コネクト(株)
Dahua Technology Japan(合)	ビブリオテカ・ジャパン(株)
グローリー(株)	HOUSEI(株)
(株)KSM	マイティキューブ(株)
(株)サイエンスアーツ	(株)マクニカ
三和コンピュータ(株)	(株)三宅
(株)JSS	リアルネットワークス(株)
(株)セキュリティデザイン	Loss-Controls(株)
セーフィー(株)	ワンビ(株)
CIA(株)	

賛助会員

(株)アスタリスク	(株)NICCOサポート
亜細亜印刷(株)	(株)日本保安
(株)オーム電機	(株)パトライト
(株)自己啓発協会	(株)ボックス・ワン
(株)セキュアリンク	(株)UACJ
三愛化成商事(株)	(株)ロケット
チェスコムアドバンス(株)	

特別会員

一般社団法人 ソフトウェア協会
公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引防止犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人 リテールAI研究会
タグ&バック事務局
一般社団法人 ロスプリベンション協会

お陰さまで全会員数が69組織になりました。

(2026年7月31日現在)

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会 委員長・副会長 山本 健二



推奨顔認証システム
ステッカー

小売業や物流現場のカメラ画像の効率的な利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム提供者側の販売指針を発表することで、カメラ画像の適切な利用促進に向けての環境整備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」を制作。令和2年に推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

技術基準委員会 委員長・事務局長 田丸 典億



EASステッカー

平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験を実施することになり、その方法等の内容を検討し実施するために、技術基準委員会が設置された。

- ①対ベースメーカー等との干渉実験
- ②電磁界測定 ③電気用品安全法対応
- ④各種の基準作り

政策・研究委員会 委員長・理事 摺田 祐司



JEASとして、取り上げるべき問題・課題の検討を行い、その結果を委員会の責任において、行政機関・関連団体・報道機関等に対し建議および提言・アピールを行う。

調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

総務委員会 委員長・副会長 近江 元



工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。事務局と密接な関係を保ちながら主として次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の起草と見直し、他の委員会に所属しない業務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に応じてそれらを取りまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会 会長・個人情報管理室長 稲本 義範 (総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師)

速報!

イベント情報

詳しくはJEASの
Homepage & Facebookにて

● 10/9 (金)



アジア太平洋小売業者大会 ロスプリベンション会議
東京国際フォーラムにて

● 10/16 (金)



第6回科学保安検定講習会 YOTSUYA TOWER 7Fにて

JEASフェイスブック
ロス対策メルマガ
好評配信中!

工業会 日本万引防止システム協会会報第45号

□発行日：2026年7月21日 □発行人：稲本義範
□発行：工業会 日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7階
TEL：03-3355-2322 FAX：03-3355-2344
ホームページ <https://www.jeas.gr.jp/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>
メルマガ <https://www.jeas.gr.jp/mail.html>
法人番号：9700150096387

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。
ご相談窓口では、皆様からのEAS機器等の万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。
ご連絡先は、左記の工業会 日本万引防止システム協会事務局宛となります。